



目次

◆事務局からのお知らせなど.....	1
■Strix 38 号の原稿募集のお知らせ.....	1
■『野鳥』誌の在庫処分にあって、過去号配布のお 知らせ.....	1
■理事が改選されました.....	1

■令和 3(2021)年度第 1 回評議員会(定時)議事録.....	2
■令和 3(2021)年度第 2 回理事会(臨時)議事録.....	4
■会員数.....	5

◆事務局からのお知らせなど

■自然保護室より

■Strix 38 号の原稿募集のお知らせ

Strix(ストリクス:野外鳥類学論文集)は、当会が 1982 年より発行している、鳥類の生態、繁殖や飛来に関する新知見、知られていない行動などの観察記録、自然保護活動の事例紹介などを掲載する和文誌です。会員であればどなたでも投稿できます。上田恵介会長(Strix 編集長、立教大学名誉教授)、三上かつら氏(Strix 副編集長、バードリサーチ)による論文指導のもとで、査読者や英文校閲者のご協力を得て、年 1 回発行しています。現在、Strix38 号(2022 年 5 月発行予定)への掲載に向けた原稿を募集しています。Strix は、「原著論文」、「短報」、「総説」、「論説(自然保護レポートを含む)」、「観察会報告」、「書評」の 6 つのカテゴリーに分かれ、原著論文と短報、総説については査読があります。また、観察会報告では、支部単位で行なっている探鳥会や観察会、個人の長年の観察記録のデータを掲載し、査読はなく Strix 編集部による校閲があります。1 年 1 回の調査地のデータであれば 5 年分以上、毎月またはシーズンごとに調査している場所であれば 3 年以上のデータを取り扱います。投稿の方法や書式については投稿規程をご確認下さい。

<投稿規程>

https://www.wbsj.org/activity/conservation/publications/strix/strix_rule/

皆さまのお手元にある調査研究のデータや観察記録などを見直していただき、未発表のものがありませんら、ぜひ、Strix にご投稿下さい。

どうぞ、よろしくお願い致します。

[原稿の送り先]

- ・Eメールの場合:hogo@wbsj.org
- ・郵送の場合:141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル 日本野鳥の会自然保護室

(自然保護室/山本 裕)

■広報室より

■『野鳥』誌の在庫処分にあって、過去号配布のお知らせ

『野鳥』誌の過去号については、財団事務局内の保管スペースの確保のため、定期的に在庫を処分する必要があります。

つきましては、処分扱いとなる過去号を、会員勧誘やイベントでの配布ツールなどにご活用いただきたく、ご希望の支部に配布いたします(発送費は当会で負担いたします)。

ご興味のある支部は、広報室までご連絡ください。

■e-mail:hensyu@wbsj.org

■電話:03(5436)2632(月~金 10:00-16:00)

(広報室/小島弥生)

■総務室より

■理事が改選されました

6 月 16 日に開催された評議員会において、新しい理事が決まりました。

【理事】任期 2 年

◎理事長 遠藤 孝一 (日本野鳥の会栃木県支部副支部長)

◎副理事長 狩野 清貴 (元 NPO 自然観察指導員京都連絡会代表)

常務理事 葉山 政治 (公益財団法人日本野鳥の会)
理 事 安西 英明 (公益財団法人日本野鳥の会
主席研究員)

// 笠原 逸子 (日本野鳥の会神奈川支部副支部長)

// 鶴見 みや古 (公益財団法人山階鳥類研究所コレクションディレクター)

// 見田 元 (アドバンストアイ株式会社
顧問)

※ ◎：代表理事



左から、見田理事、遠藤理事長、上田評議員長、狩野副理事長。

■新任理事のあいさつ

●理事 鶴見みや古



本年 6 月に理事に就任した鶴見みや古です。私と日本野鳥の会の係わりは約数十年、会の事務所が渋谷の第一園芸青山フラワービルにあったところに遡ります。当時「月曜会」という学生を主とするボランティア集団があり、私も一学生として参加しておりました。この度、理事就任のお話をいただいた際、この月曜会での様々な活動を思い出しました。月曜日の夕方に会の事務所に集まって、鳥や自然についての勉強会、鳥に関係する方々のお話を伺うといったことのほか、日本野鳥の会が催す探鳥会、調査、イベントなどのお手伝いをさせていただいておりました。私はその一連の活動の中で、会の職員や月曜会のメンバー、そして活動を通して関わった会員のみなさまに様々なことを教えていただきました。

現在、私は山階鳥類研究所で図書や多数の資料の整備と管理に携わっております。今思えば、この時の活動を通じてのさまざまな経験が現在の私の仕事を行う上で大変役立っていると感じております。このような

思いから、まだまだ非力で未熟者ではありますが、少しでも会のお役に立てるのであればと、理事という大任をお引き受けすることと致しました。新米役員でわからないことばかりですが、どうぞよろしくお願いいたします。

鶴見 みや古

(総務室／松井 華奈)

■令和 3(2021)年度第 1 回評議員会(定時)議事録

1 日 時 令和 3 年 6 月 16 日(水)
午後 2 時 00 分～午後 3 時 45 分

2 開催場所 当財団会議室
東京都品川区西五反田 3-9-23
丸和ビル 3 階

3 出席者 評議員総数 7 名
(敬称略、五十音順)
出席評議員 6 名
上田 恵介
(以下、5 名は Web 会議での出席)
岩切 久
上原 治也
黒澤 信道
河野 博子
小林 みどり

出席理事
遠藤 孝一
狩野 清貴
葉山 政治

出席監事
曾我 千文
新實 豊
(全員、Web 会議での出席)

事務局
五十嵐 真(総務室長)
渡邊 順子(総務室長代理)
川島 麗子(総務室総務管理グループチーフ)
林山 雅子(総務室員)
松井 華奈(総務室員)

4 議長 上田 恵介

5 議事の経過の要領及びその結果

葉山政治常務理事が開会を宣言、その後、上田恵介評議員長から挨拶があった。また、本評議員会は、Web 会議システム(Zoom)を利用し行う旨が述べられ、出席者が一同に会するのと同様に適時・的確な意見表明が互いにできる状態になっていることが確認された。引き続き、葉山常務理事より、本評議員会は定款第 22 条の規定に定める定足数を満たしており、適法に成立している旨、報告があった。

議事録署名人については、定款第 24 条の規定により、

出席した評議員長及びその会議において選任された1人となっており、評議員長の他、岩切久評議員が選任され、本人も承諾し、直ちに議案の審議に入った。

6 議決事項の審議

(1) 第1号議案 定款変更の件

五十嵐総務室長より、増員により選任された理事の任期を、在任の理事に合わせるため、定款第31条第3項を追加する定款変更について、資料に基づき説明がされた。

上原治也評議員より、定款変更に係る手続きについて質問がされ、五十嵐総務室長より、内閣府への届出のみであると回答がされた。

審議を経て、議長がこの賛否を諮ったところ、全員が異議なくこれを承認した。

(2) 第2号議案 理事選任の件

上田恵介評議員長より、本定時評議員会の終結と同時に、葉山理事は辞任し、他の6名は任期満了により退任するため、改選の必要がある旨が述べられた。

上田評議員長より、理事候補者推薦委員会（議長：上田評議員長 令和3（2021）年6月1日開催）において選出された下記の候補者について提案がされ、それぞれ賛否を諮ったところ、全員が異議なくこれを承認した。また、被選任者は全員就任を承諾した。

理事 安西 英明 （重任）
理事 遠藤 孝一 （重任）
理事 笠原 逸子 （重任）
理事 狩野 清貴 （重任）
理事 鶴見 みや古 （新任）
理事 葉山 政治 （重任）
理事 見田 元 （重任）

理事 松田 道生 （退任）

7 報告事項

(1) 2020年度事業報告及び決算の件

遠藤理事長より、2020年度事業報告について、資料に基づき説明がされ、2020年度決算について、永島公朗公認会計士による会計監査によって財務諸表等は適正な処理がなされていると確認されたこと、一般正味財産は約6,066千円の増加、指定正味財産は約96,718千円と大幅な減少であること、コロナ禍による大幅減収に対して、事業費及び人件費を抑制し対応したこと、財務三基準は達成したことが資料に基づき説明された。

岩切評議員より、野鳥誌の特集は、「羽の色の不思議」、「モズのはやにえ学入門」、「もう一つの絶滅 添い遂げたウモウダニ、日本産トキと一緒に絶滅」等、興味深い内容である、引き続き、探求心を育てる内容を掲載し、若い方への普及に努めてほしいと意見が出され、上田評議員長より、鳥は不思議なことがたくさんある、これからも興味を持てる内容を掲載してほしいと意見が出された。

(2) 2021年度事業計画及び予算の件

遠藤理事長より、2021年度事業計画の概要について、資料に基づき説明がされ、2021年度予算について、長期的な財政安定のため予算編成方針（令和2年度第3

回理事会議決）にて必達目標とされた資金収支ベースでの収支均衡予算を達成したこと、寄付金収入の向上、事業費及び人件費抑制等の損益改善努力を重ねたが、損益ベースでは、一般正味財産の部の経常増減額は47,864千円減、全体では正味財産が期首に比べ149,568千円と大幅に減少し、期末残高が1,891,839千円と19億円台を割込む予算であることが資料に基づき説明された。

小林みどり評議員より、事業計画「Ⅳ ファンドレイジング活動」に「(3) 生涯会員や個人特別会員等による支援強化のため当会の理念を共有するイベントを開催する」とあるが、法人会員向けに、当会の活動や持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）の取り組みの提案等を紹介するイベントを開催し、法人会員との関係強化を図るべきではないかとの意見が出され、遠藤理事長より、法人会員とは各々の企業にあった形でコラボレーションしたいと考えており、顧問の足立直樹氏（（株）レスポンスアビリティ代表取締役）に意見をいただき、法人との関係を強化したいと回答がされた。

河野博子評議員より、物品販売事業の大きい費目について質問がされ、五十嵐真総務室長より、商品仕入費用が一番大きく、商品送料、人件費等も嵩んでいると回答がされ、遠藤理事長より、2019年度に実施したアドバンストアイ株式会社のコンサルティング結果をもとに、商品在庫数等の適正な管理を実施している、また、今年度は、物品販売事業に係る人員1名を削減し、収支差額（利益）の拡大に向けて努力していると追加説明がされた。

小林評議員より、今年度立ち上げた新規プロジェクトチームについて質問がされ、五十嵐総務室長より、海洋プラスチック対策事業を対象とし、日本ファンドレイジング協会のファシリテーション支援を得ながら、社会から共感を得られる事業目的、事業目標を設定し、その成果が確実に支援拡大に繋がるよう事業計画を再構築する役割であり、部署を横断した人員構成となっている、なお、始動は7月2日であると回答がされた。

(3) 2020年度第3・4回及び2021年度第1回理事会の結果の件

遠藤理事長より、2020年度第3・4回及び2021年度第1回理事会の結果について、資料に基づき報告がされた。

(4) 定款変更（評議員選任方法変更）の件

五十嵐総務室長より、令和2（2020）年度第2回評議員会において議決された「評議員の選任を評議員会のみで行う方法から評議員候補者名簿を検討する委員会を設置して行う方法とする定款変更」について、内閣府への届出が完了した旨、資料に基づき説明がされた。

(5) その他（会員制度の検討について）

上田評議員長より、現行の会員制度創設時とは大きく時代が変化し、インターネットを利用したコミュニケーションツール等が発達している、時代に合った会員制度の検討が必要であり、評議員メーリングリストを活用し、意見交換する旨説明がされた。

議長は以上をもって全部の報告を終了した旨を述べ、

午後 3 時 45 分閉会を宣言し解散した。

以上の議事を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び議事録署名人がこれに記名押印する。

令和 3 年 6 月 17 日

公益財団法人 日本野鳥の会定時評議員会

議長 上田 恵介

議事録署名人 岩切 久

(総務室／松井 華奈)

■令和 3(2021)年度第 2 回理事会(臨時)議事録

1 開催日時 令和 3 (2021) 年 6 月 16 日 (水)
午後 3 時 50 分～午後 4 時 10 分

2 開催場所 当財団会議室
東京都品川区西五反田 3-9-23
丸和ビル 3 階

3 出席者 理事現在数 7 名
出席理事 7 名 (五十音順)
遠藤 孝一
狩野 清貴
葉山 政治
見田 元
(以下の理事 3 名は、Web 会議システムでの出席)
安西 英明
笠原 逸子
鶴見 みや古

出席監事 (全監事、Web 会議システムでの出席)
曾我 千文
新實 豊

傍聴
上田 恵介 (評議員長)

事務局
五十嵐 真 (総務室長)
林山 雅子 (総務室員)
松井 華奈 (総務室員)

4 議長 理事長 遠藤 孝一

5 議決事項

- 第 1 号議案 理事長選任の件
- 第 2 号議案 副理事長選任の件
- 第 3 号議案 常務理事選任の件
- 第 4 号議案 理事会招集権者順序決定の件
- 第 5 号議案 理事会議長代行順序決定の件
- 第 6 号議案 役員改選に伴う常勤役員の年間報酬額決定の件
- 第 7 号議案 参与委嘱の件

6 議事の経過の要領及びその結果

葉山政治理事より、Web 会議システム (zoom) を利用し行う旨が述べられ、出席者が一同に会するのと同様に適時・的確な意見表明が互いにできる状態になっていることが確認され、開会を宣言し、理事長が選任されるまで議長として議事を進行することの承認を求め、出席理事全員がこれを了承した。続いて本理事会は定款第 42 条の規定に定める定足数を満たしており、適法に成立している旨、報告があった。

また、上田恵介評議員が傍聴者として出席している旨の報告がされた。

なお、議事録署名人については、出席役員全員が署名人となることを確認した後、次の議案の審議に入った。

(1) 第 1 号議案 理事長選任の件

葉山理事より、定款第 27 条第 2 項に定める理事長の選任について出席理事の意見を求めたところ、理事長に遠藤孝一理事を選任したい旨の提案があり、その賛否を諮ったところ、全員が異議なく次の通り選任し、被選任者も就任を承諾した。

理事長 遠藤 孝一

ここで、定款第 41 条に基づき議長を葉山理事から遠藤理事長に交代した。

(2) 第 2 号議案 副理事長選任の件

遠藤理事長より、定款第 27 条第 3 項の定めにより、副理事長の選任について出席理事の意見を求めたところ、副理事長に狩野清貴理事を選任したい旨の意見があり、その賛否を諮ったところ全員が異議なく次の通り選任し、被選任者も就任を承諾した。

副理事長 狩野 清貴

(3) 第 3 号議案 常務理事選任の件

遠藤理事長より、定款第 27 条第 3 項の定めにより、常務理事の選任について葉山理事を推薦したい旨の提案があり、その賛否を諮ったところ全員が異議なく次の通り選任し、被選任者も就任を承諾した。

常務理事 葉山 政治

(4) 第 4 号議案 理事会招集権者順序決定の件

遠藤理事長より、定款 40 条第 2 項に基づき、理事長に事故があった場合の理事会招集権者順序について、狩野副理事長、葉山常務理事の順としたい旨の提案があり、この賛否を諮ったところ、全員が異議なくこれを承認した。

(5) 第 5 号議案 理事会議長代行順序決定の件

遠藤理事長より、理事会規程第 9 条により、理事会議長代行順序について、狩野副理事長、葉山常務理事の順としたい旨の提案があり、この賛否を諮ったところ、全員が異議なくこれを承認した。

(6) 第6号議案 役員改選に伴う常勤役員の年間報酬額決定の件

遠藤理事長より、常勤役員の年間報酬額は規定に定めがある通りであるが、令和2(2020)年度第4回理事会において議決された通り、2021年度については財政難により、理事長は25%削減、副理事長は20%削減、職員兼務理事の葉山常務理事及び安西英明理事については15%削減とする旨、資料に基づき説明がされた。

見田理事より、常勤役員の報酬額を役員報酬細則通りの金額に戻すタイミングについて質問がされ、遠藤理事長より、現状の財政難を克服し、職員及び嘱託職員の賞与額が通常通りになった時であると考えている旨の回答がされた。

審議を経て、議長がこの賛否を諮ったところ、全員が異議なくこれを承認した。

(7) 第7号議案 参与委嘱の件

狩野副理事長より、令和3(2021)年度第1回定時評議員会において理事を退任された松田道生氏について、野鳥に関する専門的知識及び当会の職員・理事の経験等に基づいた活動全般に対するサポート・アドバイスなどの協力をお願いするため参与を委嘱したい旨、また、委嘱期間は2021年6月17日から2023年6月16日であると説明がされた。

安西理事より、現在の参与委嘱者について質問がされ、五十嵐総務室長より、鳥インフルエンザ及び二国間条約やフライング等の国際会議に関する情報収集などを委嘱している金井裕氏、執行役員への助言及び総務に係る助言・指導などを委嘱している奥田秋穂氏、当会主催の探鳥会や双眼鏡・望遠鏡相談会及び各連携団体(支部等)が主催する探鳥会へのサポート等を委嘱している高堀幸夫氏の3名であると回答がされた。

審議を経て、議長がこの賛否を諮ったところ、全員が異議なくこれを承認した。

議長は以上をもって全部の議題を終了した旨を述べ、午後4時10分閉会を宣言し解散した。

上記の議事を明らかにするために議事録を作成し、出席役員全員の名において記名、押印する。

令和3(2021)年6月17日

公益財団法人日本野鳥の会臨時理事会

議長 代表理事 遠藤 孝一

代表理事 狩野 清貴

理事 安西 英明

理事 笠原 逸子

理事 葉山 政治

理事 鶴見 みや古

理事 見田 元

監事 曾我 千文

監事 新實 豊

以上

(総務室/松井 華奈)

■会員数

7月1日時点の会員数は33,591人で、先月と比べ14人増加しました。

6月の入会・退会者数(表1)をみますと、入会者数は退会者数より33人多くなっています。

入会者数は186人で、前年同月(※1)の入会者数113人と比べ73人増加しました。

また、退会者数は153人で、前年同月(※1)の退会者数247人と比べ94人減少しました。

なお、会員の増減は入会者数と退会者数のほかに、会費切れ退会となった後に会費が支払われ会員として復活した人数によって決まります。

※1 昨年、コロナウイルスの影響で、会員の入退会や変更の手続きが遅滞したため、「前年同月」の会員数は2020年4月1日時点の値を参照しています。

表1. 6月の入会・退会者数

	入会者数	退会者数
個人特別会員	12 人	6 人
総合会員(おおぞら会員)	30 人	46 人
本部型会員(青い鳥会員)	27 人	30 人
支部型会員(赤い鳥会員)	73 人	44 人
家族会員	44 人	27 人
合計	186 人	153 人
年度累計	660 人	※

※会費切れ退会となった後に会費が支払われ会員として復活する方がいらっしゃるため、退会者数の年度累計は、実際の退会者数とずれた数字となります。

●都道府県および支部別会員数

野鳥誌贈呈者数を除いた数を掲載します。

表2 都道府県別の会員数(7月1日時点)

都道府県	会員数	対前回差
北海道	1,637 人	8 人
青森県	232 人	1 人
岩手県	358 人	-1 人
宮城県	506 人	2 人
秋田県	253 人	0 人
山形県	212 人	3 人
福島県	550 人	2 人
茨城県	820 人	-4 人

栃木県	714 人	-2 人	札幌支部	297 人	1 人
群馬県	586 人	-1 人	小樽支部	59 人	0 人
埼玉県	1,969 人	-3 人	苫小牧支部	150 人	0 人
千葉県	1,492 人	-5 人	室蘭支部	134 人	-1 人
東京都	4,613 人	-3 人	道南檜山	63 人	0 人
神奈川県	3,212 人	-1 人	青森県支部	116 人	0 人
新潟県	357 人	2 人	弘前支部	114 人	2 人
富山県	193 人	-2 人	秋田県支部	245 人	1 人
石川県	280 人	-1 人	山形県支部	188 人	3 人
福井県	215 人	2 人	宮古支部	78 人	-1 人
山梨県	257 人	-3 人	もりおか	153 人	0 人
長野県	823 人	3 人	北上支部	96 人	0 人
岐阜県	458 人	0 人	宮城県支部	476 人	1 人
静岡県	1,241 人	2 人	ふくしま	144 人	3 人
愛知県	1,523 人	7 人	郡山支部	153 人	-1 人
三重県	431 人	-5 人	白河支部	27 人	-1 人
滋賀県	304 人	-2 人	会津支部	56 人	0 人
京都府	795 人	4 人	奥会津連合	8 人	0 人
大阪府	1,921 人	-2 人	いわき支部	90 人	0 人
兵庫県	1,260 人	4 人	福島県相双支部	16 人	0 人
奈良県	477 人	-1 人	南相馬	12 人	0 人
和歌山県	197 人	1 人	茨城県	740 人	-2 人
鳥取県	210 人	2 人	栃木県支部	684 人	0 人
島根県	200 人	4 人	群馬	507 人	1 人
岡山県	536 人	3 人	吾妻	44 人	0 人
広島県	574 人	2 人	埼玉	1,456 人	-8 人
山口県	334 人	2 人	千葉県	914 人	-1 人
徳島県	304 人	-3 人	東京	2,616 人	-4 人
香川県	178 人	1 人	奥多摩支部	754 人	0 人
愛媛県	341 人	1 人	神奈川支部	2,145 人	3 人
高知県	114 人	1 人	新潟県	265 人	2 人
福岡県	1,227 人	-5 人	佐渡支部	35 人	1 人
佐賀県	193 人	3 人	富山	174 人	-1 人
長崎県	212 人	-2 人	石川	258 人	-3 人
熊本県	382 人	0 人	福井県	210 人	-1 人
大分県	214 人	0 人	長野支部	406 人	2 人
宮崎県	242 人	1 人	軽井沢支部	164 人	2 人
鹿児島県	321 人	3 人	諏訪支部	220 人	-1 人
沖縄県	85 人	-3 人	木曽支部	20 人	0 人
海外	10 人	0 人	伊那谷支部	69 人	0 人
不明	28 人	-1 人	甲府支部	180 人	-2 人
全国	33,591 人	14 人	富士山麓支部	57 人	-3 人
			東富士	60 人	0 人
			沼津支部	140 人	1 人
			南富士支部	232 人	0 人
			南伊豆	37 人	0 人
			静岡支部	325 人	1 人
			遠江	373 人	0 人
			愛知県支部	1,133 人	5 人
			岐阜	445 人	0 人
			三重	371 人	-1 人
			奈良支部	413 人	-2 人
			和歌山県支部	203 人	-1 人
			滋賀	294 人	-4 人

備考：不明は転居先が不明の会員を示します。

表 3 支部別の会員数（7月1日時点）

支部	会員数	対前回差
オホーツク支部	253 人	0 人
根室支部	72 人	1 人
釧路支部	146 人	-2 人
十勝支部	169 人	0 人
旭川支部	77 人	1 人
滝川支部	42 人	0 人
道北支部	26 人	0 人
江別支部	21 人	0 人

京都支部	748 人	-1 人
大阪支部	1,775 人	0 人
ひょうご	966 人	6 人
鳥取県支部	226 人	2 人
島根県支部	189 人	4 人
岡山県支部	511 人	2 人
広島県支部	487 人	1 人
山口県支部	310 人	2 人
香川県支部	137 人	1 人
徳島県支部	324 人	-3 人
高知支部	97 人	1 人
愛媛	318 人	-3 人
北九州支部	265 人	-2 人
福岡支部	538 人	1 人
筑豊支部	222 人	-3 人
筑後支部	160 人	-2 人
佐賀県支部	240 人	1 人
長崎県支部	204 人	-1 人
熊本県支部	374 人	-2 人
大分県支部	203 人	0 人
宮崎県支部	237 人	0 人
かごしま県支部	299 人	4 人
やんばる支部	54 人	-4 人
西表支部	42 人	0 人
	28,351 人	-5 人

備考：支部別の会員数の合計は、都道府県別の会員数の合計と異なります。これは、本部型（青い鳥）会員や支部に所属されていない個人特別会員が支部別の会員数に含まれないためです。

（総務室／三浦 岳志）

◆支部ネット担当より

いつも支部ネット通信をご愛読いただきありがとうございます。

豪雨による被害に遭われた方々へ、心よりお見舞いとお悔やみを申し上げます。被災地域の日も早い復興を心よりお祈りいたします。

※発行号数の表記について、2021 年 3 月号より、過去に発行しております号外版（28 号分）を含む総通巻表記に統一しております。

日本野鳥の会

支部ネット通信

2021 年 7 月号・通巻 234 号（※）

◆発行

公益財団法人日本野鳥の会 2021 年 7 月 26 日

◆担当

総務室 総務管理グループ

五十嵐真/林山雅子/松井華奈/原元奈津子/萩原洋平
〒141-0031

東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル

TEL : 03-5436-2620

FAX : 03-5436-2635

E-mail : sibu-net@wbsj.org